

## ■福島県飯舘村の震災・原発被災の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

### 1、給水

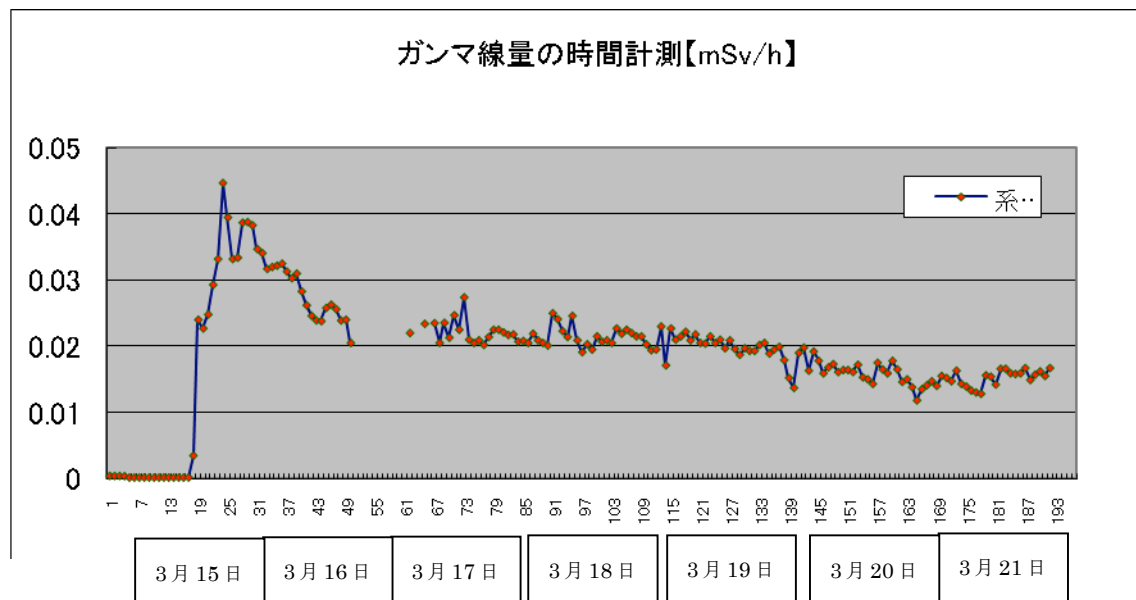
今日は、村内に残っている世帯に約100t、一人あたり24リッター8日分に相当する水を供給した。

### 2、水質（村の水道水）

滝下浄水場の給水は20日に965Bqベクレルあったが、21日は492Bqに下がった。  
（まだ、基準値からみても高い状態である。糸長）

### 3、放射線の値

役場周辺では、16μSv付近で推移している。（下がる傾向が止まり、安心できる状況ではない。糸長）



### 4、薬

明日以降もいつ入荷するのか、薬の補給の見通しがたっていない。

隣接する川俣町の病院でも軽度の患者の受け入れしかできないなど、医療態勢が充分でない。

### 5、栃木県鹿沼市（村民の集団避難箇所）の状況

22日現在、鹿沼市総合体育館に避難を受け入れていただいている村民は約310人で、一部の人は首都圏などへ退出の動きがある。

村職員3名が現地対応にあたっている。

### 6. 今後の対応

<決定事項>

- ・ 被爆の有無を調べる県の「スクリーニング」は、明日の23日も「いちばん館」で実施される。
- ・ 医者や買い出しに行きたいが燃料が足りないとの要求にこたえ、明日、全戸に、世帯1台限定で、1台あたり給油量約13リッター、2千円分ガソリンの給油カードを交付する。